

(別記)

## 令和3年度東郷町地域農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

### 1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

東郷町は、水田を主体とした農業地域です。零細兼業農家が多数を占めており、農業者の高齢化や担い手不足の解消が課題となっています。

こうした中、平成18年1月に有限会社東郷農産が設立され、利用集積や作業受託により担い手不足及び耕作放棄地対策などが図られています。

一方、平成26年3月に東郷中央土地区画整理事業(約43.4ha)により農業振興地域内農地が市街化区域に編入され、同年11月に区画整理組合が設立したことから、農地面積が減少しています。

### 2 高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

東郷町の圃場は水田向けに圃場整備したものが多く、粘土質のため、作目は水稲が適しています。このため、需要に応じた生産の推進と不作地解消のため、飼料用米及び米粉用米を転換作物として推進していきます。

また、有機栽培等の付加価値を高める農法を推進することで、付加価値の向上を図るとともに、高収益作物や種子米、二毛作麦など収益向上が望める作物の作付けを推進していくことで農家所得の確保に努めてまいります。

耕作条件の向上のため、各地域の話し合いを通じて集積・集約を推進し、団地化の形成を図っていきます。

転換した作物の販売先として、給食や地元福祉施設等への販路開拓を推進していきます。

### 3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

洪水防止機能や生物の多様性等の多面的機能を持続していくため、持続性に優れた生産装置である水田を維持していくための取り組みを行っていく。

冬季の水田の活用のために米粉用米又は飼料用米と麦との二毛作を推進することで、水田の有効活用を図っていく。

水田の利用状況については農業委員会と情報を共有し、耕作放棄地があれば担い手や新規就農者等へのあっせんを行い、耕作放棄地を減少させ水田の有効利用を図っていく。

営農計画書や現地確認により、長年畑作物のみを生産し、今後水稲の作付見込みの無い水田について整理を行い、畑地化支援等の活用を見据え畑地化に向けて検討をしていく。

### 4 作物ごとの取組方針等

#### (1) 主食用米

東郷町の主要な作物は水稲であるため、東郷町地域水田農業ビジョンで位置付けた担い手を中心に農地の利用集積及び作業受委託の拡大等を図ります。

#### (2) 備蓄米

該当なし

(3) 非主食用米

ア 飼料用米、イ 米粉用米

需要に応じた生産の推進と不作地解消のため、平成29年産水稻作付けから飼料用米及び米粉用米を転換作物に位置付け推進しています。

ウ 新市場開拓用米、エ WCS用稲、オ 加工用米

該当なし

(4) 麦、大豆、飼料作物

麦：産地交付金を活用し生産性向上等の取組を推進しながら需要者の要望などに即し、計画的に生産していきます。これに伴い、令和元年度から本町法人にて作付けが始まりました。

大豆：国内需要の高い大豆の生産の推進と不作地解消のため、実需者の要望などに即した生産を推進します。

(4) 高収益作物（園芸作物等）

水田における高収益作物の生産と不作地解消のため、産地交付金を活用し、野菜、果樹、花き・花木の作付けを推進します。

**5 作物ごとの作付予定面積等**

作物等	前年度作付面積等 (ha)	当年度の作付予定面積等 (ha)	令和5年度の作付目標面積等 (ha)
主食用米	169.9	156.9	149.4
備蓄米	2.01	2.01	2.01
飼料用米		13.4	17.0
米粉用米	2.7	2.7	3.0
新市場開拓用米			
WCS用稲			
加工用米			
麦	2.0	5.0	13.0
大豆	1.2	1.2	1.2
飼料作物			
・子実用とうもろこし			
そば			
なたね			
高収益作物	32.3	34.1	35.6
・野菜	25.3	33.6	35.0
・花き・花木	0.16	0.1	0.2
・果樹	0.4	0.4	0.5
・その他の高収益作物			
その他			
・			
畑地化			

## 6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	用途名	目標	前年度（実績）		目標値	
1	野菜・果樹 （基幹作）	高収益作物（野菜・ 果樹）の取組	野菜作付面積 果樹作付面積 計	(2年度) 2.53ha 0.40ha 2.93ha	(5年度) 3.70ha 0.55ha 4.25ha		
2	花き・花木 （基幹作）	高収益作物（花き・ 花木）の取組	作付面積	(2年度) 0.16ha	(5年度) 0.2ha		
3	飼料用米・米粉用米 （基幹作）	新規需要米の生産拡 大、生産性・品質向 上に向けた取組	飼料用米作付面積 米粉用米作付面積 計	(2年度) 0ha 2.6ha 2.6ha	(5年度) 17.0ha 3.0ha 20.0ha		
4	大麦、小麦 （二毛作）	麦の作付けに対する 助成	麦作付面積	(2年度) 2.0ha	(5年度) 13.0ha		

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

## 7 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり

※ 農業再生協議会の構成員一覧（会員名簿）を添付してください。